

# ふくはく だより

Vol.36 2023.3.1

編集・発行 文化学園服飾博物館

- PANTS! パンツ！ 大集合.....1
- 2022年の活動報告.....2
- 特 集.....3
- 2023年 展示のご案内.....4



## PANTS! パンツ！大集合 !!

～世界のさまざまなパンツ～

二股に分かれた下衣「パンツ」。世界にはさまざまな形や丈のパンツがあります。そもそもパンツは男性のはくもの、と思っていませんか？ いいえ、民族衣装には、伝統的に女性がパンツをはく地域も多くあります。ここでは世界各地のバラエティーに富んだパンツを紹介します。



ドイツ・バイエルン州の民族衣装 撮影：村上佳代

山岳地帯に暮らす人々の衣装は、膝の動きを妨げず、起伏の激しい山道も歩きやすい。

### みじかい【短い】

丈が短く足を出したパンツは、足さばきの良さを必要とする人たちにとって都合がよい。

イギリスの水着  
(20世紀初め・女性用)  
女性が活動的になり、体にフィットしたパンツ型の水着も登場。

中国(女性用)  
山岳地帯で暮らすハニ族のパンツは棚田での作業にも適する。

パキスタン(女性用)  
細い部分は縮めてはくことで、サソリなど有害な生物の侵入を防ぐ。

2.3 m

日本(江戸時代・男性用)  
武士の礼装、袴の長袴。  
裾を長く後ろに引きずる。

1.6 m



アフガニスタンの遊牧民のパンツの裾。

足の長さよりもはるかに長いパンツ。どうはくのかは地域によって異なり、機能や意味がある。

### ながい【長い】



いちまいぬの【一枚布】  
一枚の長い布を二股に着せつけ、足さばきのよいパンツのようにする。

インドの男性 撮影：松島きよえ  
ドゥティーと呼ばれる4mほどの一枚布を巻きつける。パキスタン(女性用)  
一日の気温差が大きなこの地域では空気層をたっぷり作る。アフガニスタン(女性用)  
両脇にひだを寄せて布の接ぎ目で色を変え、装飾効果を高める。イラン(女性用)  
パンツと靴下が一体化した形状。

ウエスト幅が広く、ギャザーをたっぷりと寄せてはく。体と生地の間に厚い空気層ができ、暑さと寒さに対処できる。

トルコの女性  
撮影：村上佳代

**ヨーロピアン・モード**

3月11日～5月18日

本展では、18世紀から、産業の発達や社会の成熟とともに変化する19世紀を経て、若者や大衆が流行の担い手となった20世紀末まで、約250年の女性モードの変遷を、その社会背景とともに紹介しました。

第2展示室では「花模様」を特集しました。18世紀から20世紀へと、染織技術の発展とともに表現方法も多様化していく中、繊細なものから大胆なものまで、さまざまな花模様のドレスを展示しました。展覧会は新聞や雑誌にも取り上げられ、春の花の季節にふさわしい華やかな展示となりました。

**未来は過去にある "THE FUTURE IS IN THE PAST" - NIGO's VINTAGE ARCHIVE -**

9月14日～11月13日

本展では「HUMAN MADE」創設者兼デザイナーであり、「KENZO」のアーティスティックディレクターでもあるNIGO®が、35年余りにわたって収集し続けるヴィンテージコレクションを展示しました。母校である文化服装学院から、更に多くの世界を魅了するファッショニエ・デザイナーが誕生することを願って企画された本展は好評を博し、その貴重なコレクションの数々は、学生ばかりではなく、ファッショニエ爱好者やヴィンテージフリークの目を楽しませました。



主催=文化学園、文化服装学院

**ホームページをリニューアルしました**

ホームページを8年ぶりにリニューアルし、展覧会情報を見やすく、またスマートフォンへの対応も考慮しました。新宿駅からの分かりやすいイラストマップは、文化学園大学の授業内の課題として製作されたものの中から採用しました。

**オリジナル手ぬぐいを作りました**

6月に開催された「型染」展にあわせ、服飾博物館オリジナル「糸へん手ぬぐい」を作りました。糸へんの文字を寿司湯呑風に並べたデザインで、浜松市の注染の工場に染めを依頼しました。



ナレーション録音の様子

**型染～日本の美**

6月15日～8月4日

本展では、奈良時代の正倉院裂に始まり、江戸時代に武家が着用した衣服、大正・昭和時代に庶民の衣生活を支えた着物、現代の作家が制作した独創的な作品など、長い歴史を持つ日本の型染の変遷を紹介しました。

藍一色の精緻なものから、多色に染め分けた華やかなものまで、多彩な型染の服飾をお楽しみいただき、改めて日本の染織文化の奥深さを感じていただけました。会期中には、元文化学園大学教授の佐藤百合子先生のオンライン講演会「作り手が話す型染の話」を開催しました。

**紅白 夢の競演！**

—さまざまな国のかと白—

12月9日～23日2月14日

本展では「赤」と「白」の衣服に注目し、約40か国の衣装を紹介しました。婚礼や葬礼で使用する赤と白、ステイタス・シンボルを表す赤と白、コミュニティ内での身分や立場を示す赤と白など、それぞれの持つ意味に分けて展示することで、国による違いや共通点が浮き彫りとなりました。展示の最後では「赤 vs ハリウッド衣装対決！」として、映画「ドラキュラ」で使用された赤のローブと「ローマの休日」の白のドレスを展示しました。来館者の皆さんには楽ししながら展示をご覧いただきました。

**中山湖文学の森・三島由紀夫文学館に協力**

10月5日から'23年3月31日まで、中山湖文学の森・三島由紀夫文学館で「たまきのきもの」展が開催されました。この展示は戦前に活躍したオペラ歌手、三浦環の着物を紹介するもので、当館は着物と帯の染織技法や模様など、基礎調査について協力をしました。

**八潮市立資料館に協力**

1月21日から3月12日まで八潮市立資料館で開催された「日々を装う」展の男性の装いのコーナーで、当館から明治時代のフロックコートと文官大礼服を貸し出しました。

文官(奏任)大礼服  
明治19年-大正時代  
日高秋父着用**展覧会予告動画を作りました**

「紅白 夢の競演！」展において展覧会の予告動画を作製しました。動画のナレーションは、元NHKアナウンサーで文化外国语専門学校校長、文化学園大学教授の古屋和雄先生にご協力いただきました。

**図録『名品セレクション』を刊行します**

文化学園創立100周年を記念し、4月1日に図録『文化学園服飾博物館 名品セレクション』を刊行します。この図録は、当館の所蔵する各国の優れた衣装や染織、工芸品など約350点を紹介するものです。是非ご覧ください。

『文化学園服飾博物館 名品セレクション』  
B5判 160ページ ¥2,000

埋もれさせたくない！

## 服飾博物館 学芸員がおススメする映画、10選

近年、動画配信サービスが一般的なものとなり、過去の映画やドラマを目にすることも増えているのではないでしょうか。ここでは、当館の学芸員が選んだ「衣装が印象的だった映画作品」の中から、10作品をランダムにご紹介します。

### 『細 雪』（1983年）

谷崎潤一郎の同名小説が原作。昭和13年の大阪・船場の旧家を舞台とし、四姉妹の三女の縁談を中心に、それぞれの1年間を抒情的に描く。

オススメ POINT！



『細 雪』 東宝DVD名作セレクション  
DVD発売中 2,750円(税込価格2,500円)  
発売・販売元：東宝  
(\*2023年3月現在の情報)

冒頭の花見のシーンの華やかさは圧巻！着物を着たい衝動にかられます。四女は洋服のシーンも多く、四姉妹の年齢やキャラクターによる着物の違いにも注目。映画を見てから原作を読むも良し。

### 『去年マリエンパートで』（1961年）

パロック風の豪奢なホテル（時代、国の設定はない）を舞台に、客として訪れた男性と、「去年マリエンパートで出会った」と告げられた女性の寓話。

オススメ POINT！



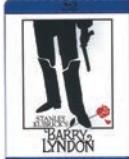
『去年マリエンパートで』 4Kデジタル修復版  
Blu-ray 2,280円(税込)  
発売・販売元：KADOKAWA  
(\*2023年3月現在の情報)

ワンシーン毎の空間はまるで一枚の絵画のよう。モノクロの画面の中で、繊細なレースや極薄いシフォンなどで仕立てられているであろうシャネルが協力した衣装の数々は、さりげなくエレガント。

### 『バリー・リンドン』（1975年）

18世紀、アイルランドの野心に燃える若者が、富と名声を得て貴族社会で成りあがっていく榮華と没落の半生を描く。

オススメ POINT！



『バリー・リンドン』 Blu-ray  
発売元：ワーナー・ホームビデオ  
価入組

贅の限りを尽くした華やかなロココ様式の衣装、「ミルクに浮かぶ蠅」と民衆から揶揄された白粉と付けぼくろの化粧、、。榮華を極めた貴族の退廃的な世界観がリアルでちょっと不気味。

### 『鳩の翼』（1997年）

1910年代のロンドンとヴェネツィアを舞台に、階級社会にとらわれながら生きる、3人の男女の複雑な恋物語を情感豊かに描き出す。

オススメ POINT！



『鳩の翼』 Blu-ray 2,075円(税込)  
DVD 1,572円(税込)  
発売元：NBCユニバーサル・エンターテイメント  
(\*2023年3月現在の情報)

20世紀初頭のヴェネツィアで活動したデザイナー、フォルチュニイのドレスを思わせる衣装は必見！室内で身支度を整えるシーンでは、当時流行したエキゾチックなガウンや下着の様子も。

### 『リオの男』（1964年）

フランス海軍のパイロットとその恋人が、博物館に展示された古代文明の秘宝の盗難をめぐり、リオで繰り広げられる冒険アクション・コメディ。

オススメ POINT！



『リオの男』 Blu-ray 税込￥5,280  
DVD 税込￥4,180  
発売・販売元：キングリコード(株)  
©1964 TF1 Droits Audiovisuels All rights reserved.  
(\*2023年3月現在の情報)

主人公の愛らしい魅力を、シンプルな水色のミニのワンピースと麦わら帽子、無造作なヘアスタイルが引き立てる。物語の疾走感もあいまって、1960年代の若々しさ全開！

### 『眺めのいい部屋』（1986年）

20世紀初期、フィレンツェを訪れたイギリスの令嬢と、その旅先で出会った純粹で情熱的な青年の、階級を超えたラブ・ストーリー。



『眺めのいい部屋』  
公開当時のチラシ  
個人蔵

オススメ POINT！

映像、音楽、すべてが美しく、アール・ヌーヴォーの世界をじっくり堪能できる。旅先での装い、部屋着、庭でのテニスなど、主人公のさまざまなパターンの衣装が見どころ。男性たちの身分やキャラクターによる衣装の違いにも注目。

### 『ワーキング・ガール』（1988年）

ニューヨーク・ウォール街の証券会社を舞台に、仕事に恋愛にパワフルに生きる都会的な女性のサクセス・ストーリー。



『ワーキング・ガール』  
ブルーレイ発売中 2,096円(税込)  
デジタル配信中(購入・レンタル)  
© 2017 Twentieth Century Fox Home Entertainment Inc.  
発売・販売元：ワーナー・ホーム・エンターテイメント  
(\*2023年3月現在の情報)

オススメ POINT！

1980年代をリアルタイムで描いているため、当時の風俗がそのまま反映されていて、懐かしい？新鮮？。。。フワッフワのヘア、肩パット入りのスーツ、スニーカーでの出勤（でもオフィスではハイヒールに）は、まさしく当時の「キャリアウーマン」！。

### 『モダン・タイムス』（1936年）

工場で働く男性を通し、現代の機械文明をコミカルに風刺する。チャップリンが監督・脚本・製作・作曲・主演を務めた。



オススメ POINT！

1930年代当時の風俗が分かる。ブルジョア男性、囚人、労働者、キャバレーの客、通行人、、。人物を隅々まで見ると、当時の着こなし、生地の質感、髪型、後ろ姿など、動画だからこそ多くの情報が得られる。「街の灯」、「黄金狂時代」も同じ理由でおススメ。

### 『花様年華』（2000年）

1962年の香港。同じアパートに引っ越してきた既婚の男女が、互いの伴侶の裏切りに傷つきながら徐々に惹かれあう大人のラブ・ストーリー。



『花様年華』  
4Kスチア Blu-ray 5,720円(税込)  
4K UHD+Blu-ray 7,480円(税込)  
発売・販売元：TCG・タカラトミー  
©2000 ELEPHANT FILM INC.  
©2019 JET TONE CONTENTS INC. ALL RIGHTS RESERVED  
(\*2023年3月31日発売)

オススメ POINT！

シーンごとに異なる様々なチーパオ（チャイナドレス）に身を包んだヒロインの姿が美しい。2015年にメトロポリタン美術館で開催された「鏡の中の中国」展では、同映画の監督がディレクションを務め、映画の世界ながらの空間美を演出。

### 『彼岸花』（1958年）

小津安二郎監督、初のカラー映画。娘が自身で選んだ結婚相手を気に入らない頑固な父親と、それを取り巻く家族の物語。



『彼岸花』  
Blu-ray 5,170円(税込)  
DVD 3,080円(税込)  
発売・販売元：松竹  
(\*2023年3月現在の情報)

オススメ POINT！

染織作家、浦野理一の着物を堪能できる。娘世代は、型絵染の華やかな着物を、母親世代はあたたかみのある紬の着物を着こなす。会社勤めの父親は家に帰ると着物に着替えるが、母親は外でも家でも着物を着るなど、昭和30年代の衣生活が垣間見られる。

## 2023年 展示のご案内 ● Exhibition Schedule

3月10日(金)～5月20日(土) \*4/21、5/12は19:00まで開館

### ヨーロピアン・モード

ヨーロッパのドレスは、それぞれの時代でスカートの形や丈、袖の大きさなどに流行が見られます。これらの流行は、政治的、経済的、社会的な要因が密接に関係しています。本展では、宮廷が流行を生み出した18世紀から、産業の発達や社会の成熟とともに変化する19世紀を経て、若者や大衆が流行の担い手となった20世紀末まで、ヨーロッパを発信源とする約250年の女性モードの変遷を、その社会背景とともに紹介します。また、特集として「アール・ヌーボーの工芸」を取り上げます。19世紀末から20世紀初めにかけて開花した美術様式、アール・ヌーヴォー。流麗な造形のガラス器や装身具、ミュシャの版画など、現代でも色褪せない優美な工芸品をご覧下さい。

イヴニング・ドレス  
1925年頃  
キャロ姉妹



ローブ・ア・ラ・フランセーズ  
1760-70年頃



ドレス  
1948年頃 ディオール



ブローチ  
1900-20年頃



壺  
1918-31年  
ガレ工房

ポスター  
「四季」より「春」  
1896年  
ミュシャ

6月17日(土)～8月6日(日) \*6/26は閉館、6/18、7/16、7/30、8/6は開館  
7/7、7/21は19:00まで開館

### 日本服飾の美

前期展示=6/17～7/8、後期展示=7/10～8/6

文化学園服飾博物館は1979年の開館以来、さまざまな地域の服飾資料を幅広く収集してきました。中でも日本関係の資料は、質、量ともに充実し、日本有数のコレクションとなっています。本展では、江戸時代の豪商で近代には財閥として知られる三井家伝来の打掛、公家の伝統を受け継いだ近代の宮廷衣装、簡素な中にも潔さの漂う江戸時代後期の武家の服飾などを紹介します。それぞれの制度やしきたり、気風から生み出された服飾には、精緻な染織技術や優美な意匠が見られ、日本の美意識が集約されています。当館の誇る日本服飾の優品を是非ご堪能ください。\*一部資料は前期・後期で入れ替えをします。



打掛  
江戸時代末～明治時代初期  
三井家旧蔵  
(後期展示)



五衣唐衣裳(十二单)  
昭和3年  
賀陽宮敏子妃着用



打掛  
江戸時代末～明治時代初期  
三井家旧蔵  
(前期展示)



陣羽織  
江戸時代後期  
(後期展示)



火事具足  
江戸時代後期  
伊予大洲藩主  
・加藤家旧蔵

9月16日(土)～11月13日(月) \*11/3は開館、11/6、7は閉館  
10/13、10/27は19:00まで開館

### 日本の洋装化と文化学園のあゆみ

明治期、日本は近代国家建設のためヨーロッパの文物を導入し、その一環として宮廷服に洋装が取り入れられました。上層階級の間で着られるようになった洋装は、大正、昭和初期には次第に都市部の富裕層の間にも広がり、戦後、生活様式の変化とともに日本人の生活に定着しました。文化学園は大正12年(1923)の創立以来、日本の服飾教育の中心を担い、日本人の洋装化や、ファッションを担う人材育成に大きな役割を果たしてきました。本展では、主に明治期から戦後までの洋装化の流れを展観するとともに、文化学園の100年にわたる服飾教育のあゆみを振り返ります。



デイ・ドレス  
明治20年代  
並木伊三郎制作  
(文化学園創設者)



ドレス  
昭和3年頃  
並木伊三郎制作  
(文化学園創設者)



『服装文化』  
創刊号  
昭和9年  
文化学園大学図書館蔵



大阪万博 案内係の制服  
1970年

12月9日(土)～2024年2月14日(水) \*年末年始休館=12/28～1/5  
12/15、1/19は19:00まで開館

### 魔除け ～見えない敵を服でブロック！～

新型コロナウィルスの世界的な流行は、病気の恐ろしさや、人生でままならぬ事態が突然起りうることを改めて実感させました。科学の知識がない時代、病気や死は目に見えない「魔」によって引き起こされるものと信じられ、人体と外界との境目にあらう衣服には、「魔」から身を守る役割も求められました。人々は、「魔」を追い払い、さらに幸運を引き寄せる力があるとされる文様を衣服に表したり、装身具によって結界を築くなど、「見えない敵」から身を守り、より良い人生となるよう衣服に願いを込めました。本展では、日本と世界各地の民族衣装や装身具に見る魔除けや招福の役割を探ります。



ミラーワークのブラウス  
インド 1970年代



背守りのついた  
子供の着物  
日本 明治時代後半



虎をかたどった子供の靴  
中国 20世紀



背面に目文様のあるケープ  
モロッコ 20世紀後半

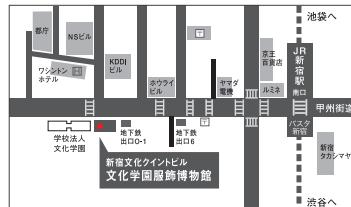


鋭く尖った腕輪  
アフガニスタン  
1970-80年代

!!上記予定は都合により変更される場合があります。最新の情報はホームページをご確認下さい。

### 利用案内

- ◆ 開館時間 10:00～16:30  
(各展示会期中2回、19:00まで開館 入館は開館の30分前まで)
- ◆ 休館日 日曜日、祝日、夏期・年末年始、展示替の期間
- ◆ 入館料 一般 500円・大高生 300円・小中生 200円  
\*20名以上の団体は100円引、障がい者とその付添者1名は無料
- ◆ 交 通 JR/京王線/小田急線 新宿駅(南口)より徒歩7分  
都営地下鉄 新宿線/大江戸線 新宿駅(新都心口)より徒歩4分



### 文化学園服飾博物館

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7  
TEL. 03-3299-2387  
<https://museum.bunka.ac.jp>

**ANNIVERSARY**  
**100** BUNKA GAKUEN

文化学園大学は今年、創立100周年を迎えます。  
文化学園大学/文化ファッション大学/大学院大学/文化服裝学院/  
文化外国语専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館